



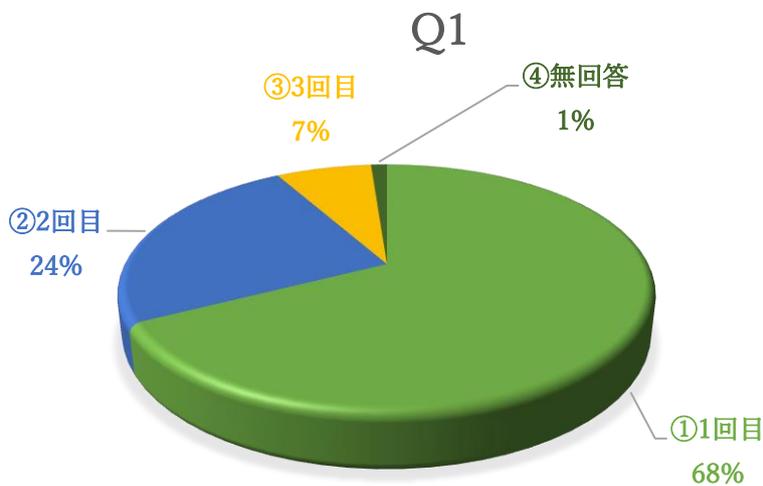
第3回メディカルケアネット蟹気楼市民公開講座

受講者アンケート

86/120 人回答

Q1 今回の参加は何回目ですか？

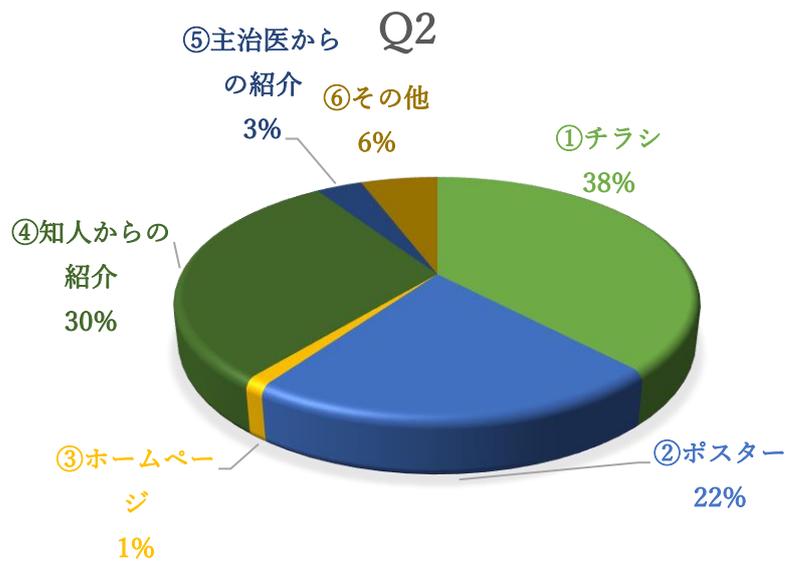
① 1回目	58人
② 2回目	21人
③ 3回目	6人
④ 無回答	1人



Q2 今回の公開講座を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

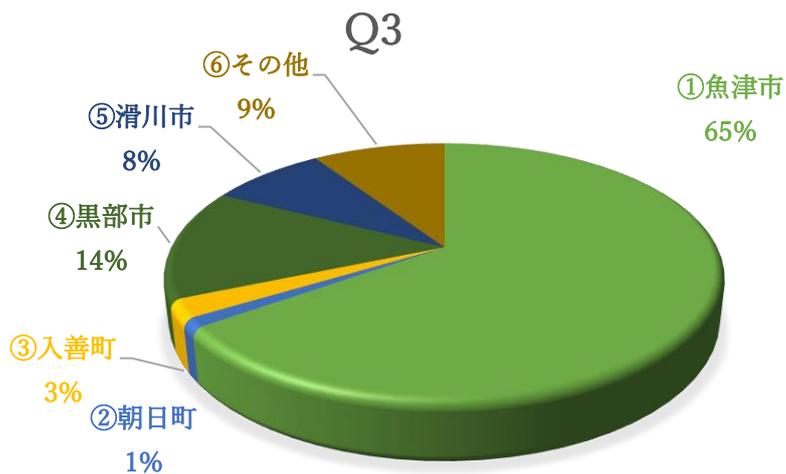
① チラシ	33人
② ポスター	19人
③ ホームページ	1人
④ 知人からの紹介	26人
⑤ 主治医からの紹介	3人
⑥ その他	5人

内訳 職場 2人、社会福祉協議会 1人、魚津広報 1人、医療機関に置いてあった 1人



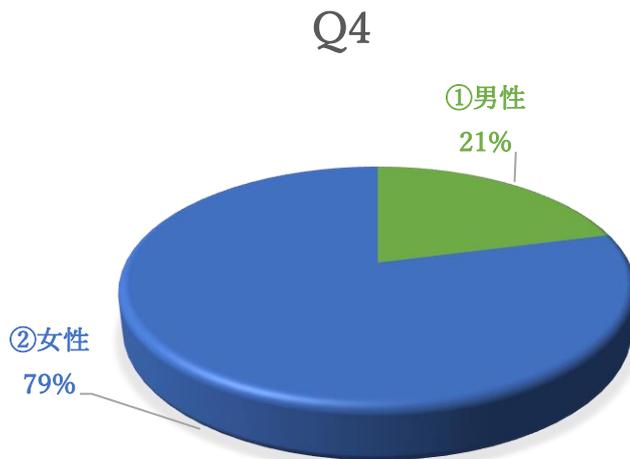
Q3 お住まいはどちらですか？

① 魚津市	56 人
② 朝日町	1 人
③ 入善町	2 人
④ 黒部市	12 人
⑤ 滑川市	7 人
⑥ その他	8 人
内訳	富山市 2 人、無回答 6 人



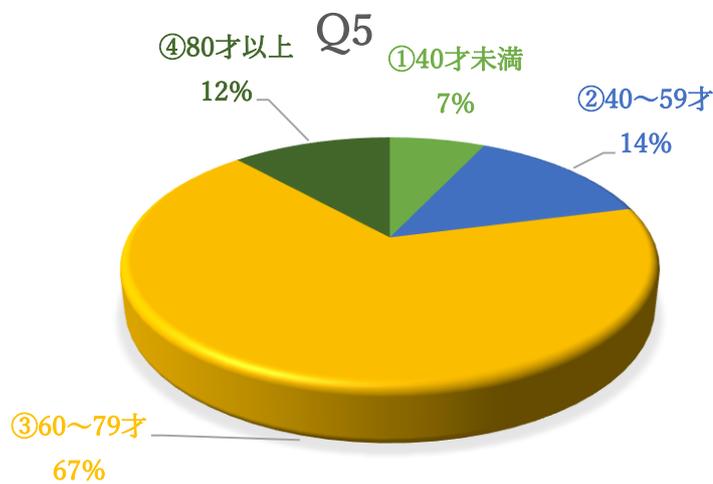
Q 4 性別

- ① 男性 18 人
- ② 女性 68 人



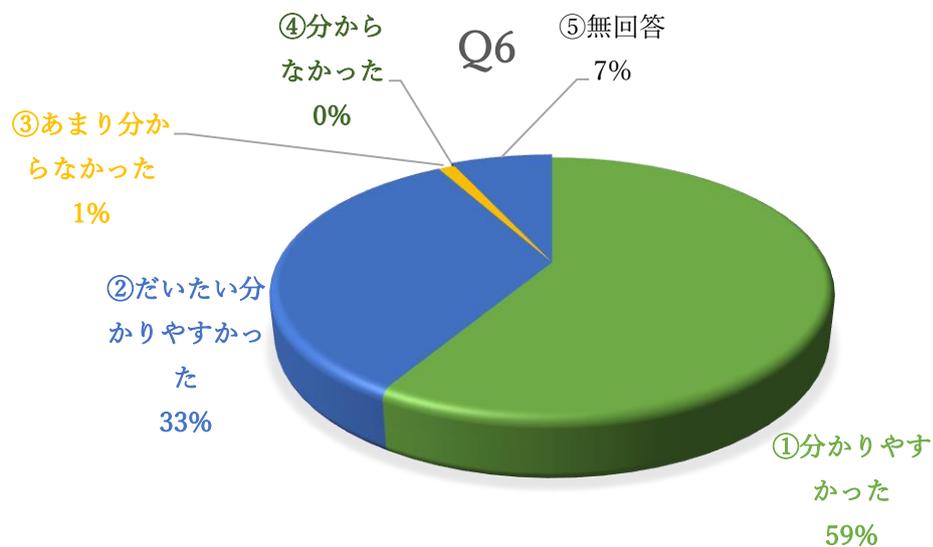
Q 5 年代

- ① 40 才未満 6 人
- ② 40～59 才 12 人
- ③ 60～79 才 58 人
- ④ 80 才以上 10 人



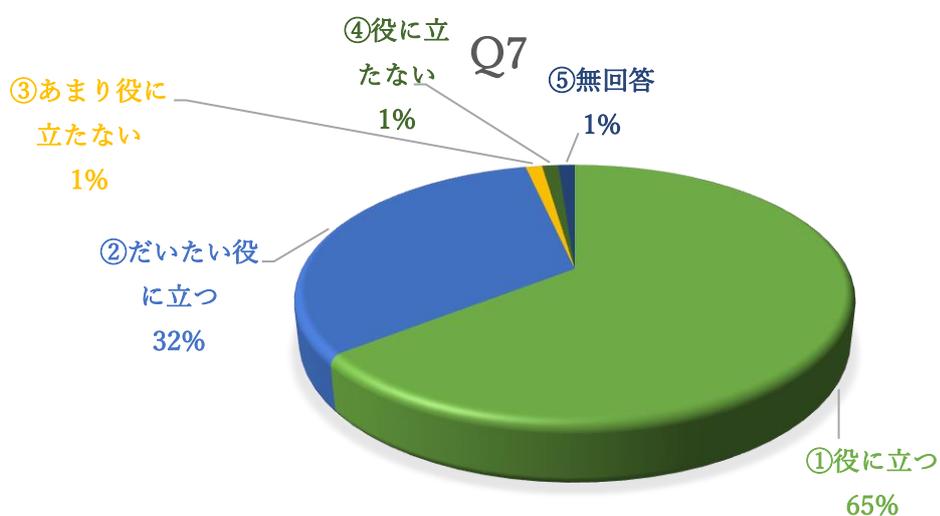
Q 6 今回の講座はわかりやすい内容でしたか？（複数回答あり）

- ① 分かりやすかった 51 人
- ② だいたい分かりやすかった 29 人
- ③ あまり分からなかった 1 人
- ④ 分からなかった 0 人
- ⑤ 無回答 6 人



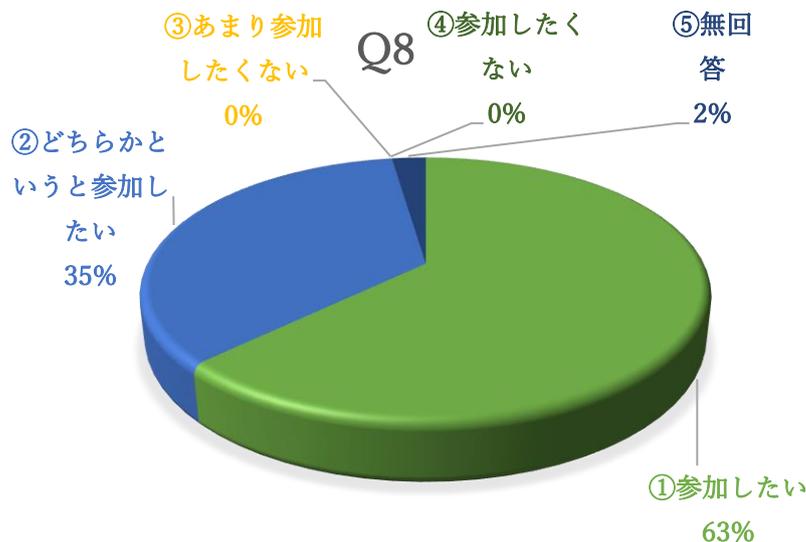
Q7 今回の講座の内容は役にたつものでしたか？（複数回答あり）

①役に立つ	56人
②だいたい役に立つ	28人
③あまり役に立たない	1人
④役に立たない	1人
⑤無回答	1人



Q8 またこのような市民公開講座に参加したいと思いますか？

①参加したい	54人
②どちらかというと参加したい	30人
③あまり参加したくない	0人
④参加したくない	0人
⑤無回答	2人



Q9 ご意見をご自由にどうぞ

- ・年金収入の範囲内で、家族に負担をかけないで最期を迎えられたらと思う。(費用が心配)
- ・タイムリーな講座でした。夫の母がけがで入院し、キーパーソンは父ですが高齢のため説明や決めごとが夫や嫁にくることが多くなっていました。在宅介ゴを考えていますがこれからのことを話し合っておく必要を感じた時期でしたので情報や現実を知れたこと助けとなりました。
- ・実際の介護者の人の話を実際介護していた人の話だったので。すごくわかりやすかった。亡くなるまでの期間はちがひ、事前に ACP を考える事の重要性を感じました。
- ・事例発表はとても良かったです。特に在宅の例は、家族間の話し合いとケアチームの話し合いがきちんと行われており、本当に今回のテーマに合っていたと思います。このようなケースが、普通になるよう本人も支援チームも意識していくよう啓発すべき。
- ・エンディングノートの記入の例があるといいですね。
- ・特別養護老人ホーム、老人病院の違いや特に費用について国民年金の人 etc。費用が高いと質のいいケアをしてもらえるのか。お金がないと質の高いのはうけさせてもらえないのか。老人ホームの選択のしかたは？必要な時にすぐ入居できるのか。あんどの里以外の意見をききたかった(新川病院/魚津病院/きんさんぎんさん) 市民公開講座で1人暮らしになった時に(病気で相手がなくなった時)(子供がいるけど仕事の関係、お嫁にっていない)どんな生活すればいいか。魚津でどんな事をしているのか。(仲間作り/死に方/病気の時)してほしい(食事/旅行)孤独死とか。
- ・ていねいな事例発表がよかったです。(あんどの里の2つの例)(ACPを初めて知った。えんげ機能など少しずつ低下していくのだと思った)自己肯定を大切にしたい(始めてエンディングノートを手にしてから自分の環境も少し変わり、世の中も少し変わったと思う。記入したものはストックしておこうと思った。
- ・ばくぜんとして生きていた。自分とのかかわりについて真剣に考えないといけないと思っていたが、なかなかきっかけがつかめなくてこれから考えてゆこうと思いました。
- ・とてもわかりやすかったです。
- ・施設へお見舞いに行きますが、自分や家族が利用することを前ていにした見学会があれば参加したいと思います。
- ・エンディングノートの書き方を初めて聞くことができてよかった

- ・介護従事者としての思いや考えは当事者になった時、を考えると全く違うものだと感じた。あくまで家族の想いが、中心であり、支える側が想う事がかえって妨げや、葛藤にもつながる事もある。ただ、今回の事例のような、ACP や、情報共有を綿密にする事で最期を穏やかに向かえる事もできると改めて学ぶ事ができ、今後の人生にも生かしたい。
- ・主人を 35 年介護を続け、令和 1 年 6 月 16 日に送りました。
- ・訪れるであろう事は分かっているけど終活の心準備のとっかかりになっていると思います。ありがとうございました。
- ・角度を変えた内容の話もあれば良かったと思います。
- ・あんどの里以外の例も他に 2, 3 例あげてほしかった。良い例ばかりでなく大変な例を知りたい。
- ・ACP＝本人・家族の移行確認
- ・高齢の親や祖父母を持つ家族向けに、親や祖父母が元気なろうにしておいたほうが良いこと、介護が必要になったときの動き方などの内容を市民公開講座で取り上げてほしいです。
- ・具体的な例をあげて、わかりやすかった。“わたしの生き方暮らし方ノート”はぜひ記入してみたいと思いました。施設が混んでいてなかなか入所できない状況で在宅で家族に負担がかかり大変だと思う。近所づきあいも大事な事です。
- ・人生をふり返え考える良い機会となりました。
- ・「わたしの生き方・暮らし方ノート」がとても良かった。
- ・なんとなく基本的な内容だった
- ・本日はありがとうございました。又何かの節は出掛けたいと思います。9 月 1 日に兄が亡くなり、いろいろ事考える事が出来この先の事、思う事、いろいろあります。
- ・各々親を送り、今私自身を考えるのによい講演でした。
- ・自分は、どう生きたいのか—どう選択するか—どう生活して行くか
- ・まだ健康に不安のない高齢者に自分の最後を考えてもらうのはなかなか難しいです。
- ・自分では病院で最後を向かえたいと思ってたが、自宅でも、こんなにも社会で援助できるサービスがあるのだとおどろかされた。今一度、今度は家族で ACP を話しあいたい
- ・エンディングノートの件はよく理解出来ました
- ・この公開講座は、大変わかりやすく今後の生活に活用したいと思っています。介護必要はランク説明を加えてほしかった。(要介護 1～5 の範囲のこと)

ご協力、誠にありがとうございました。皆様のご意見を参考にして、より良い市民公開講座を開催するように努力します。

メディカルケアネット蜷気楼主催 第 3 回 市民公開講座

代 表 榊崎 繁喜（榊崎クリニック）